

2023年11月13日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気*	緩やかに回復している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
8月の生産動向	生産は足踏みがみられる
9月の個人消費	乗用車新車販売は9カ月連続で前年を上回る
9月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を上回る
9月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を下回る
9月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月連続で前月を上回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2023年10月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

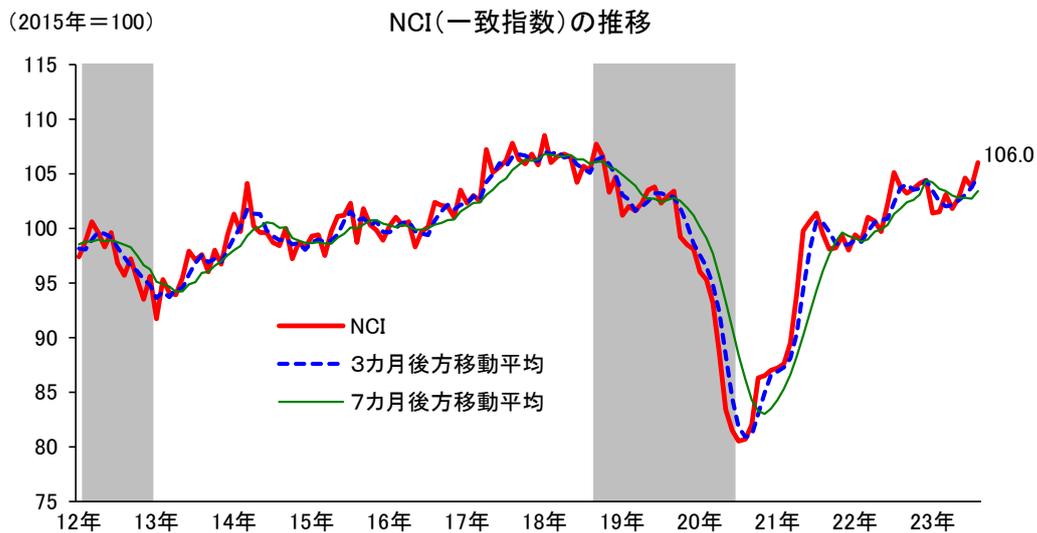
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

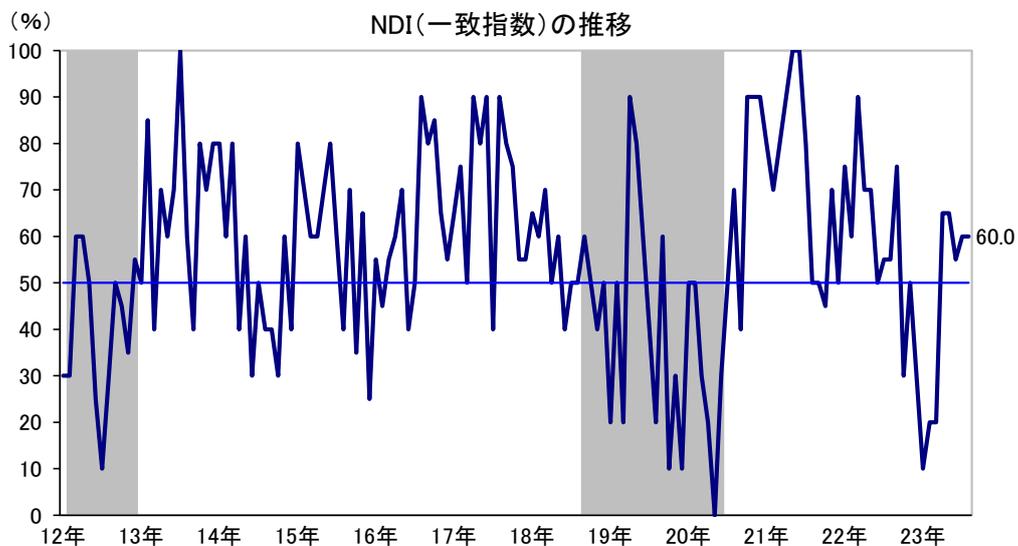


景気動向指数

- ・8月のNCI(一致指数)は、106.0と前月と比較し+2.2ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+1.1ポイントと5カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同+0.7ポイントと8カ月ぶりに上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、60.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を5カ月連続で上回った。



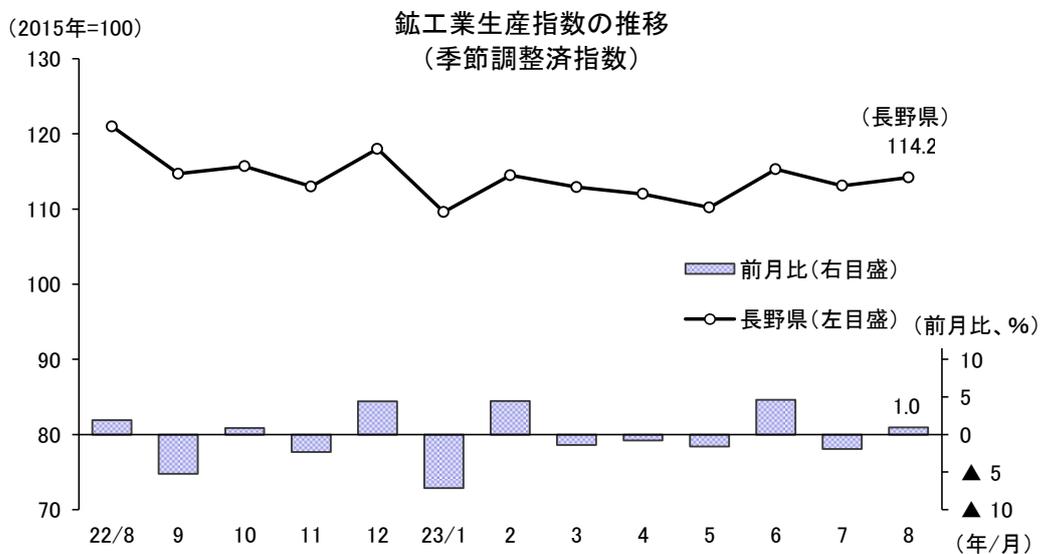
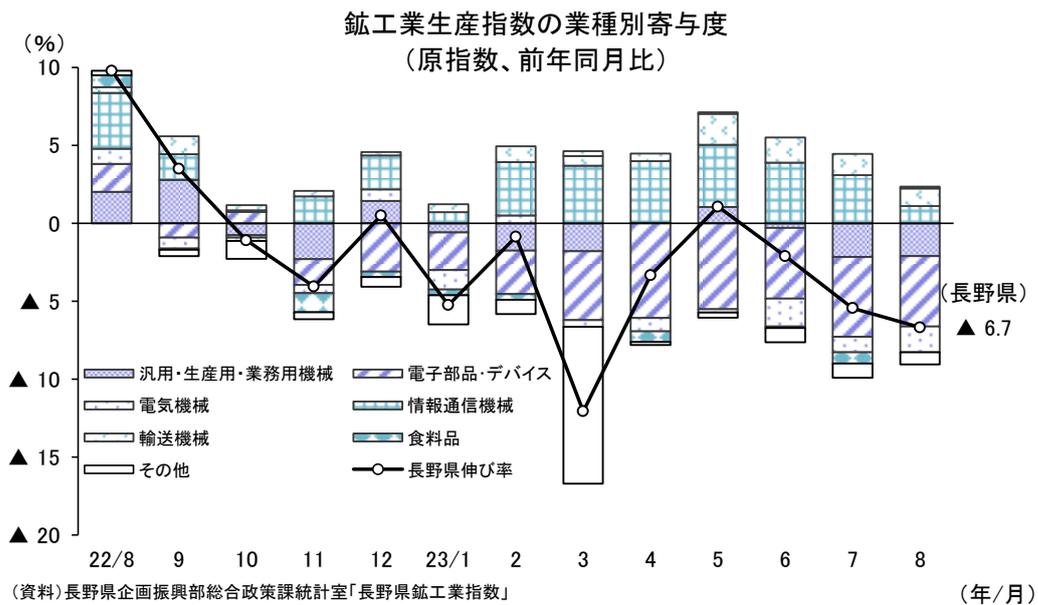
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

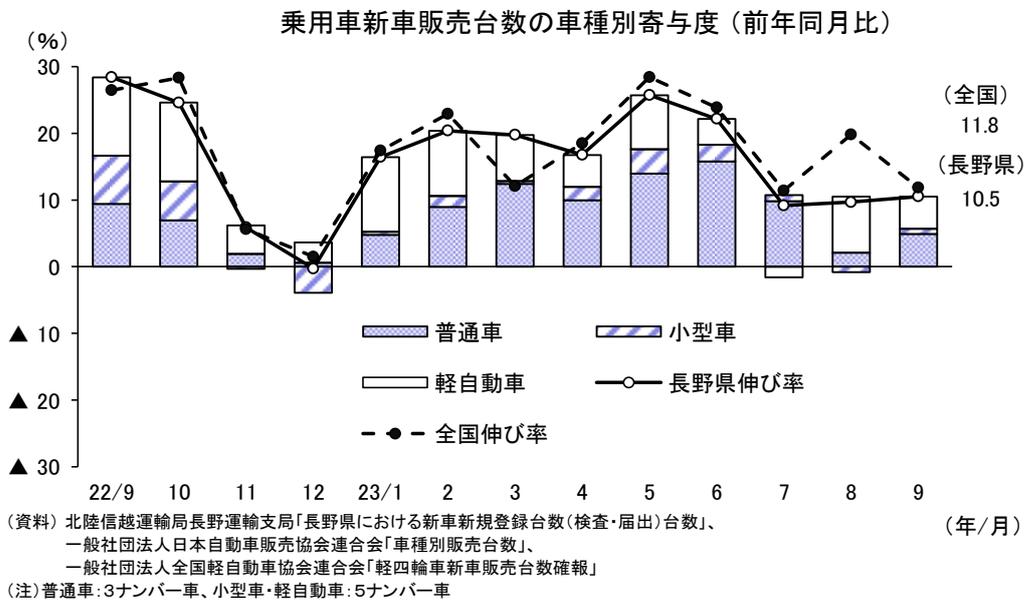
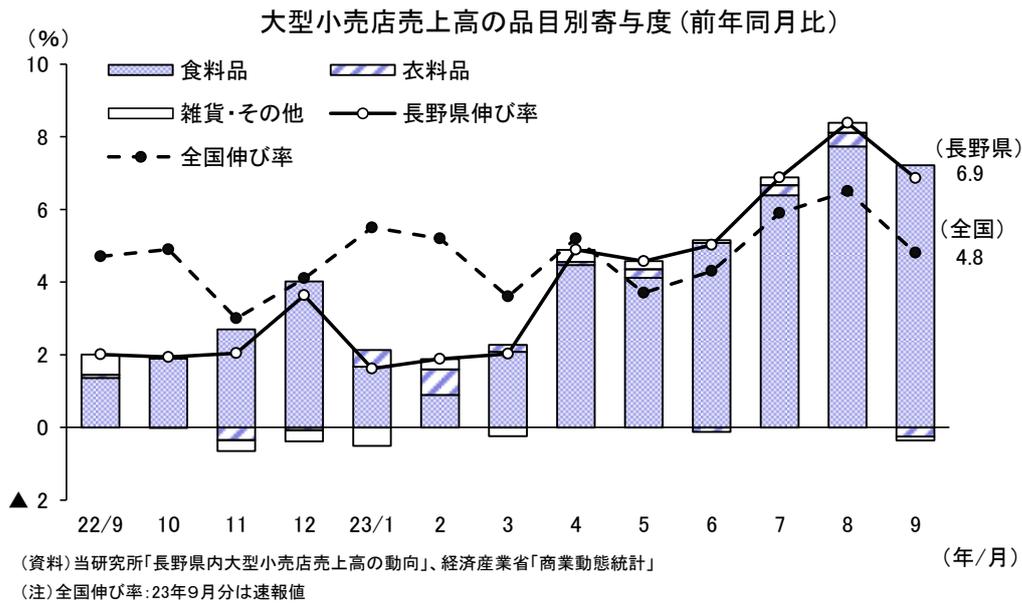
生産は足踏みがみられる

- ・8月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△6.7%、季節調整済指数が前月比+1.0%となった。
- ・原指数は3カ月連続で前年を下回ったものの、季節調整済指数は2カ月ぶりに前月を上回った。内需は堅調に推移しているものの、海外経済の減速に伴う外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「汎用・生産用・業務用機械」、「電気機械」などが前年を下回った。



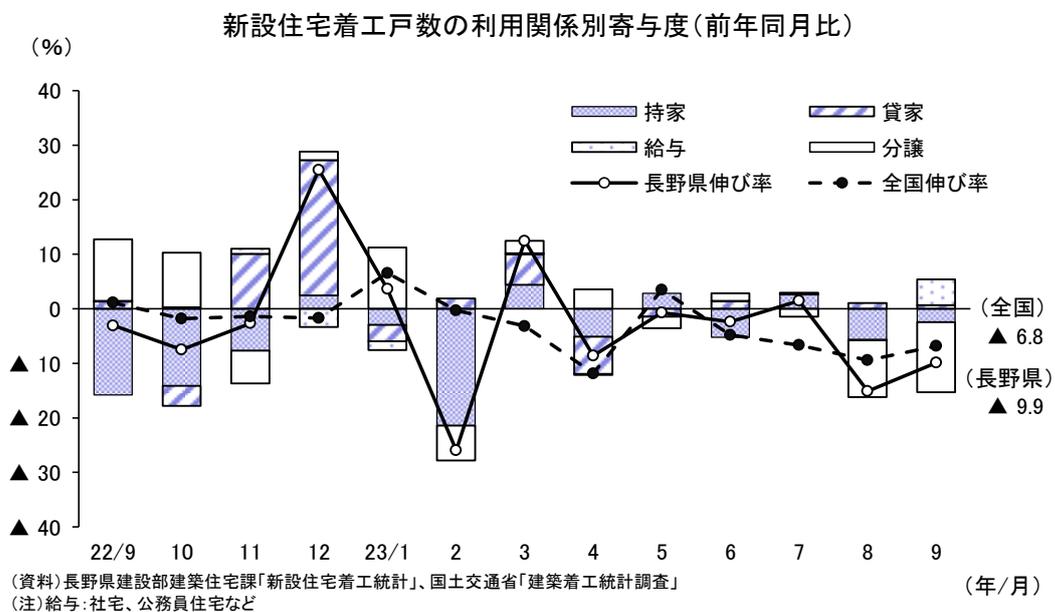
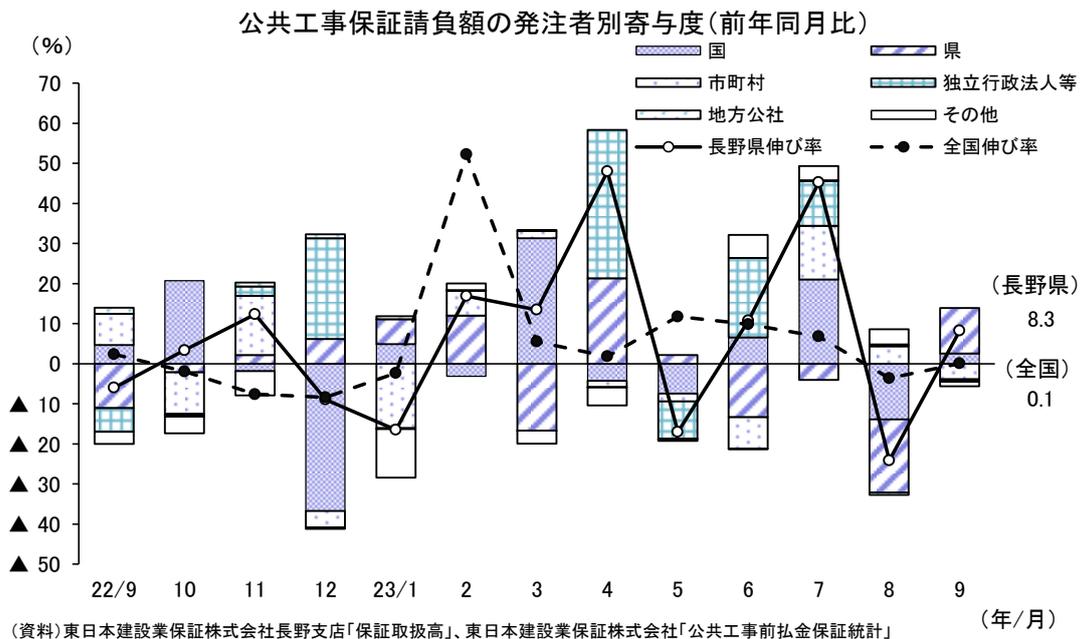
乗用車新車販売は9カ月連続で前年を上回る

- 9月の大型小売店売上高は、前年同月比+6.9%（売場面積調整前）となり、24カ月連続で前年を上回った。食料品は、気温の高い日が続いたことで飲料や総菜などが好調だったほか、販売価格の上昇などもあり、同+8.4%となった。衣料品は、秋物が低調で同△5.7%だった。雑貨・その他は、日用品などが振るわず、同△1.0%だった。
- 9月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが改善し、前年同月比+10.5%と9カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は同+13.9%と14カ月連続で、軽自動車は同+11.5%と2カ月連続で、小型車は同+3.4%と2カ月ぶりに前年を上回った。



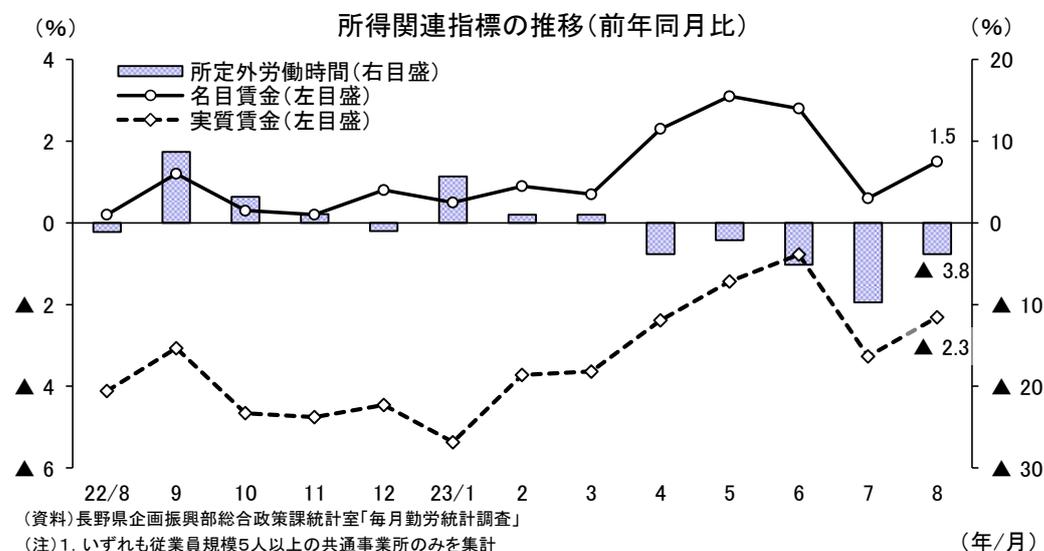
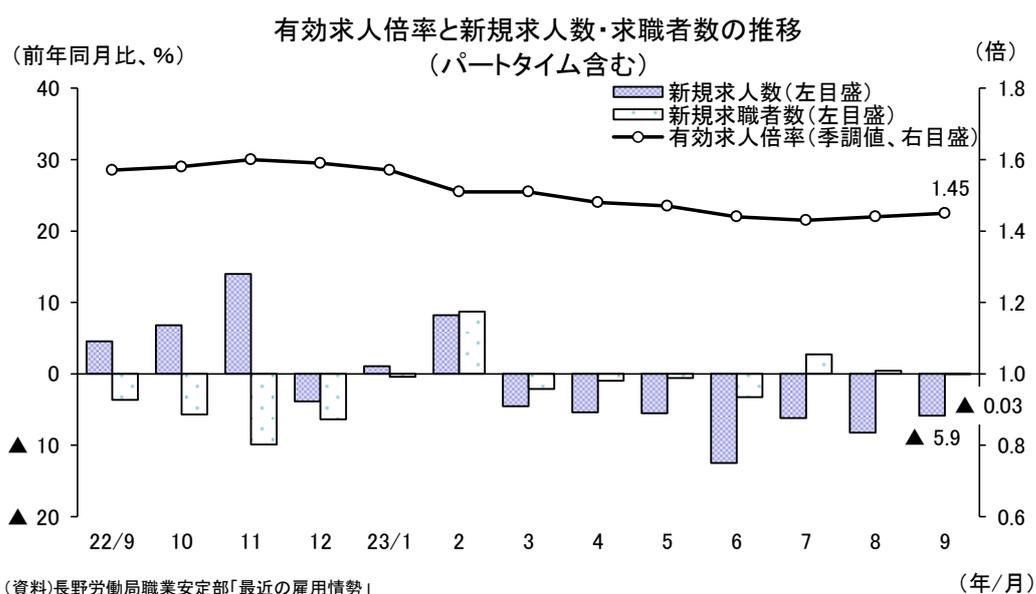
公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を上回る

- 9月の公共工事保証請負額は、前年同月比+8.3%の139億5,600万円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、市町村が同△7.7%、独立行政法人等が同△21.9%、地方公社が同△17.8%、その他が同△27.9%と減少したものの、国が同+13.2%、県が同+49.6%と増加した。
- 9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△9.9%の967戸と2カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+2.3%、給与が前年の1件から52件と増加したものの、持家が同△5.0%、分譲が同△55.9%と減少した。



有効求人倍率は2カ月連続で前月を上回る

- 9月の有効求人倍率は、前月比+0.01ポイントの1.45倍と、2カ月連続で前月を上回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比△5.9%となり、7カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△7.5%、パートは同△6.6%となった。主要産業別では、運輸業・郵便業が同+26.8%、医療・福祉が同+4.8%と前年を上回ったものの、製造業が同△18.3%、建設業が同△4.1%、卸売業・小売業が同△12.0%などと、多くの産業が前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比△0.03%と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 8月の名目賃金は前年同月比+1.5%と28カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△2.3%と20カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△3.8%と、5カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は36カ月連続で全国を上回る

- ・9月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.08ポイントの1.42倍、東信が同△0.18ポイントの1.44倍、中信が同△0.08ポイントの1.53倍、南信が同△0.10ポイントの1.47倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、大町が1.68倍と最も高く、次いで飯山が1.66倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は36カ月連続で全国を上回り、順位は前月より1つ上げ10位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年9月)

地域	北 信(1.42) (前年同月比▲0.08)				東 信(1.44) (前年同月比▲0.18)		中 信(1.53) (前年同月比▲0.08)			南 信(1.47) (前年同月比▲0.10)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.48	1.22	1.66	1.30	1.49	1.39	1.51	1.57	1.68	1.53	1.37	1.51
前年同月比 (ポイント)	0.02	▲ 0.19	▲ 0.13	▲ 0.28	▲ 0.13	▲ 0.22	▲ 0.10	▲ 0.11	0.02	▲ 0.14	▲ 0.14	▲ 0.04
うち常用	1.31	1.18	1.37	1.23	1.40	1.34	1.27	1.51	1.29	1.45	1.23	1.43
前年同月比 (ポイント)	0.03	▲ 0.18	▲ 0.14	▲ 0.23	▲ 0.10	▲ 0.21	▲ 0.10	▲ 0.12	▲ 0.10	▲ 0.09	▲ 0.09	▲ 0.04

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

